

鎌倉市の高齢者福祉へのご意見（自由記述）

問 9(2)

最後に、鎌倉市の高齢者福祉に関してご意見がございましたらご記入ください。

自由記述は 910 人からの回答がありました。「交通・移動手段」が最も多く、次いで「介護保険サービス・福祉への要望・不満」（124 件）、「行政への要望・不満」（107 件）と続いています。

No.	項目	件数
1	交通・移動手段について	158
2	介護保険サービス・福祉への要望・不満について	124
3	行政への要望・不満について	107
4	感謝	64
5	情報提供に関する要望について	61
6	生活の現状について（経済状況等、生活に関すること全般）	61
7	介護保険施設整備の要望について	38
8	介護保険料・利用料について	34
9	将来の不安について	30
10	道路整備・環境整備について	29
11	家族等の介護について	28
12	本アンケートについて	28
13	地域活動・集いの場について	23
14	健康づくり・介護予防について	20
15	医療について	17
16	生きがい・楽しみについて	10
17	就労について	10
18	その他	68
合計		910

※「その他」以外を件数の多い順に掲載。

※ 紙面の都合上、文章を要約した上で、同じ趣旨の意見等はまとめて掲載。

【交通・移動手段について】

- タクシーや電車の無料化又は補助・小型バスの地域循環
- バスの本数増を増やしてほしい。鎌倉市へのマイカー乗り入れ規制強化（危険性、交通渋滞）
- 鎌倉は坂道、狭い道が多く高齢者が外出する時の交通手段をそれに対応したものにしてほしい。小さな子どもを連れた女性にも優しいもの。小さいサイズのバスで便数を増やすなど。また、各地域から近くのショッピングセンターの往復、巡回など。
- バスの便が減っているので出かける時に困る。
- 交通が不便なところにコミュニティバスを運行してほしい。
- 高齢者が外出しやすいよう、交通費補助を充実させてほしい。
- 高齢者が車の運転をやめた後、通院や買い物等移動する時に、なるべくお金をかけなくても良い方法を提供してほしい。
- 高齢者のための交通手段を考えてほしい。例えば、月に何枚かのバス、タクシーの無料券又は割引券の配布。駅、バス停まで徒歩数十分かかり、坂道が多く大変な所が多い。
- 運転免許返納者に対してバスやタクシー料金の補助をしてほしい。（収入の多い高齢者は除く）
- 65歳以上となり体を動かす講座に参加するようになったが、通うのにお金（交通費）がかかるのが大変。参加したい講座はあってもバスを乗り継ぐような場所は諦めることもある。高齢者の交通費補助などがあったらよいかと思う。
- 横浜市のように、所得に応じたバスなどの乗車証があったらよい。
- 市役所の駐車場を市民には無料利用させてほしい。（支所などの駐車場スペースを増やす取り組みも必要）利用を制限される支所が多すぎる。
- 神社、寺など自然豊かな地域や、文化的な美術館、芸術館などの催し物を訪ねたいが、交通費が高く、せめて市内はバス代が無料になるとよい。鎌倉は、体の健康と教養のために、外出など健康につながるものはかなり多い。老人に利用しやすい方法を考えてほしい。
- 病院への通院タクシー代が診察料より費用がかかる。何か補助があると助かる。

【介護保険サービス・福祉への要望・不満について】

- 介護認定の厳しさを感じている。御近所の老人（私も含めて）が認定基準の厳しさに驚いている。また、介護認定の判定まで時間がかかりすぎる。
- 高齢単身者の自宅へ緊急時の対応策や、高齢者の望む生活（一人暮らし）のバックアップの充実。
- 近親者がいない場合の相談窓口がほしい。
- 日常生活の支援（例、紙おむつ等）の充実。
- 入浴施設などの利用券を配偶者（65 未満）分も配布してほしい。夫婦で外出できない。
- 独居老人に対して自治体の終活サポートを見ると横須賀市や大和市は力を入れているようだが、鎌倉市は少々遅れているように思う。
- 低所得高齢者に対してのサポートが充実していないと思う。低所得者に対して入浴助成金ではなく、無料券配布とか（スーパー銭湯などの）整体おためし無料券などのサービスがあると利用する幅が広くなり活動しやすくなると思う。
- 特別養護老人ホームの申し込みを横浜方式（1施設申込んだらすべての施設に申込んだことになる）に変更してほしい。
- 地域包括支援センターが多いとよいと思う。
- 合理的な運営により経費節減に努め、今後 65 歳以上になる人はインターネットによるコミュニケーションや新しい介護方法などを積極的に採用してほしい。
- LINE で毎日安否確認できる登録制度を取り入れてはどうか。また、海外との会話システムを市として推進してはどうか。
- LINE を使って直接担当者とコンタクトできるようなシステムをいづれ作ってほしい。また、特に独居高齢者こそスマホを有効活用させてほしい。そのような部署を市役所に作ってほしい。
- 高齢者特有の困りごとである確定申告用紙記入方法や行政の法改正などを周知する講座などを開催してほしい。情報がインターネットに片寄りがち。電話や窓口対応を無くさないでほしい。
- 福祉手帳は、無料や割引の施設が極端に少なくなった。特に寺社は有料に変更になった所が多い。周りの人も手帳の存在を忘れている人がほとんど。実質廃止になったも同然であり改善してほしい。

【行政への要望・不満について】

- 子育てへの施策も進められているが、子どもを増やすことと併せて必然的に目の前に迫る高齢者への福祉、看取り、税や医療への配慮施策（高所得者世帯を除く）にも今後力を入れてほしい。
- 市営住宅の抽選方法の改善、低所得者の住宅確保、高齢者優先入居など。
- 行方不明になってしまう認知症の方にマイクロチップを使うのはいかが。ひとり暮らしで不動産（賃貸）を借りられない方用の市営住宅の充実をお願いしたい。
- 難聴者が手話を使わずに自分の意志を伝える方法はないか。また、読書体験談などで語りあえる、または文章化による交流の機会は作れないのか。
- 入浴補助券はいらない。利用状況などを見て高齢者が必要とするものを考えてほしい。
- 75歳以上を対象に、5千円相当の市内使用限定の金券等を配布してほしい。
- 戸別収集を早く実施してほしい。特に生ゴミ等、重いので年々出しづらくなっている。ゴミ収集を考えてほしい。粗大ゴミの基準が50cmなので捨てにくい。
- 定期的に公地部分の管理を市でお願いしたい。
- 高齢者が多くなり、自治会なども機能しにくくなっている。年金は減らされているのに、光熱費など生活費の物価高で我慢することが多くなっている。将来が明るく迎えられるように日常生活ができることを望む。
- 地元の町内会の取組みに市の担当セクションがもっと関わりを持つこと。
- 老人に使っている社会コストを、弱者や若者にシフトしてほしい。税金の使い道を大きな社会課題である少子化対策に充ててほしい。

【感謝】

- 担当課の職員の方はいつも親切で心から感謝している。
- 知人が認知症になった時の状況をみているといいますと非常に良くやられていると感じた。
- 鎌倉市の高齢者福祉に満足している。
- 良くしていただいているので不服はない。
- 新型コロナウイルスワクチン接種の際は、市に大変お世話になったので、初めて鎌倉に住んで良かったと思った。

【情報提供に関する要望について】

- どのような制度があるかほとんど知らない。広報周知方法を考慮してほしい。
- どういう時にどういう福祉が利用できるか、わかりやすく知らせてほしい。
- 市のホームページを高齢者は見ないし、パソコンが無いので周知方法を改善して分かりやすくしてほしい。高齢者いきいき課は、市民への PR が少ない。
- 高齢者への取り組みを定期的に配信してもらえると、取り組みや相談など具体的に理解できるのでよいのではないか。
- 地域包括支援センターでの活動内容、支援内容等、高齢者に寄り添った表示の仕方、わかりやすく絵図、大きい字、パソコン、スマホを利用しなくてもできる支援方法等、例事等を含めたパンフレットなどの戸別配布。
- 認知症や車椅子になった時どこへ相談すれば良いのか、今のうちに色々知っておきたい。

【生活の現状について（経済状況等、生活に関すること全般）】

- 89 歳だが、健康に恵まれ、外出も多く音楽ボランティアをやっている。
- コロナが落ち着いたとは思えないので自分自身の行動を考えている。散歩を早朝にしたりしている。高齢者という言葉に甘えることなく今の自分に出来ることをやり続けていきたい。時代が変わり良いのか悪いのか、行政や施設に丸投げする人達もいて残念だ。
- 自分にあった体力作りで十分。仕事、登山、ヨガ、家庭菜園と毎日のスケジュールがいっぱいな現状。
- 自分の年齢を忘れて高齢者をお世話し続け、10 年以上も過ぎてしまった。まだまだ働きたい。
- 一人暮らしだが今のところ自活できている。今後体が衰えて一人での生活が難しくなった場合でもできる限り自宅での生活を続けたいと思っている。その場合、鎌倉市の高齢者福祉の方で支援してもらえることを知り安心した。自分が元気なうちは何らかのお手伝いができれば嬉しい。
- まだ高齢者としての自覚なく社会とのつながりの必要性を感じ、パート月 10 回程度の勤務、休日は買物、映画、散歩等計画を立て一人行動をしている。一日でも長くこんな幸せな日々が続いてくれることを願い体力維持に努めている。福祉についても広報等に目を通しイベントに参加できる時は積極的に参

加している。

- 老人夫婦でこの3年間コロナにかからない様に気をつけて行動生活してきた。本来なら好きなスポーツや旅行などもっとしたい事が有り制限をして生活している。健康で元気な高齢者でありたいと普段の生活の中で気をつけているが、早く制限の無い生活で楽しみたいと願っている。

【介護保険施設整備の要望について】

- 介護者施設、老人ホームの拡充。
- 短期間で特養に入れるようにしてほしい。
- 鎌倉市も高齢者が多いから、安心して入居出来る老人ホームがあるかが心配。自分達が世話になるようになった時、介護保険料を支払っているがどのようなサービスを受けられるかも、どのような手続きをしたらよいのかも今は全く分かっていないので不安。

【介護保険料・利用料について】

- 介護保険料が高い。介護保険を払っただけのサービスはきちんと受けたい。鎌倉市として独自に考えられることがあれば頑張ってもらいたい。国のやり方以上に高サービスを工夫してもらいたい。
- 介護付老人ホームの入所費用が少額で済むようにしてもらいたい。
- 子どもたちへの支援も大切だが、高齢者への支援も充実してほしい。高齢者になればなるほど病院にかかる回数も多く、保険料も1割になると思っていたのに2割、また2割が3割になったりしている。介護保険も高額な料金を支払い、といって年金が増えるわけもなく、物価上昇、生活は苦しくなるばかりかと。

【将来の不安について】

- 現在68歳だが、まだまだ元気に仕事をしている。これから何年できるか不安になるときもある。これまで自分のことを高齢者だと思ったり考えたりしたことはあまりなかったが、最近色々な準備をしなくてはならないと思っている。その準備についてアドバイスをもらえれば助かる。
- 現在は夫の年金で生活ができているが、ひとりの暮らしが成り立つかどうか考えるとこれからの生き方に希望がない。

- 現在夫と二人。何とか普通に暮らしているが、ふと何かあったらどうしようと不安になる。二人とも一日でも長く健康でいようと心がけた日々を過ごしているが、不安であることは確か。
- 現在夫の介護をしているが、年々サービスの量が増して感謝している。私も既に84歳になるので共に倒れたらどうしようと心配している。
- 現状は一人暮らしで、今はまだ自立した生活ができるが、5年、10年先を考えると不安がある。親族に頼りたくないの、地域包括支援センターなどで定期的な安全確認、LINE等を使った支援などがあると助かる。一番恐れるのは孤独死である。

【道路整備・環境整備について】

- 道路について。腰痛、足の痺れのためキャリーを使用しているが、砂利が入っていたりデコボコしているとキャリーが動かず難儀する。例えば道に30~40cm幅のなめらかな部分があると助かる。特に駅の周辺。
- 鎌倉市の歩道はかなり危ない。自動車が多い場所の整備を進めてほしい。また、夜の街灯の明かりがLEDむき出しで眩しい。街に誇りを感じて生きていきたい。動けなくなったとしても。
- 散歩していると気になるのが道路のデコボコ。また、歩道の部分が傾斜している所が多く車椅子を使用するようになった時不便ではないかと思うことがある。□夫の外出に車椅子を利用しているが、道路がデコボコしていて押しづらい。もっと平らにしてほしい。通りの通路は色々なレンガが敷いてあって素敵だとは思いますが、高齢者は、高低差があっても分かりづらく転びそうになることがある。色の違いのない普通のアスファルトにしてほしい。
- ベンチや手すりがあるだけでも助かる人は多いと思うし、公園に高齢者でも身体を動かす助けになる遊具があったらよいと思う。
- バス停にベンチが必要な方をよく見かけるので設置してほしい。また、交差点での歩行者用信号を少し伸ばしてほしい。(特にスクランブル交差点に)
- 買物・趣味などに行く時はアシスト自転車。自転車用の道があまり整っていないようで、危険な道が沢山ある。歩行も自転車も守られる環境の整備を希望する。

【家族等の介護について】

- 主人がケアマネジャーを付けているが、聞きたいことを相談しても、これは私の仕事ではないとのことで、ケアマネの仕事はどこまでかよくわからない。もう少しわかりやすくなるとよい。
- 1年前に特別養護老人ホームへの入院の申し込みをしたがまだ入れない。こんなに長い間待つとは思ってもみなかった。もっと老人が最後まで安心して過ごせる国になってほしい。
- 夫が介護のお世話になったが、外部との交渉をケアマネジャーの方をお願いしたかったのだが、やってもらえず自分で何とか整理をした。ケアマネジャーの方の豊富な経験と知恵を借りて、共に苦しい時本当に助けてもらいたい。
- 主人が脳梗塞の病にかかり包括支援センターの方、ケアマネジャーの方に大変お世話になり、私にとっても初めての経験で素早く対応して頂き大変助かった。
- 母の介護をしてくれた姉が倒れ、急に私が看ることになり県外に住んでいたことから全く様子がわからずに途方に暮れた。市役所に相談したら地域包括支援センターを紹介してもらい、介護のベッドの手配、母の保険証の取り寄せ、訪問介護の手続とすべてお世話になり6か月近く我が家で過ごし静かに旅立った。今でも一人一人のやさしい笑顔と暖かいお言葉をかけて下さったことを思い出し涙している。

【本アンケートについて】

- コロナが蔓延している現在、外出、買物、預金引出し、友達との会話等を抑制している事で、コロナ収束の折、3年前と同じことが再びできるとも考えられない。そのこと一つ考えてもこのアンケートの生かし方は難しいと思った。
- アンケートをとることは良いことだと思う。ただし、回答には常にバイアスがかかっていることを考慮して解析してほしい。「高齢者」を意識させないような対応が望ましい。
- とても良いアンケートと思うが、やはり対面が一番こちらの気持が通じるように思う。レ点では言い表すことが難しいニュアンスや事項については、生の声も大切だと思うが、自分から発信できない人にはアンケートは手段の一つとなると思う。
- このアンケートを通してどのようなことが考察されたか後日公表してほしい。

【地域活動・集いの場について】

- 地域の民生委員が交代した時は、独居老人宅だけではなく、高齢者夫婦、あるいは子育て中の自宅に自己紹介がてら挨拶にまわってもらえると安心。顔がわかると支援要請をしやすい。
- ミニ集会施設が近くに複数あるとよい。例えば、空き家利用で10人以内が集うような所が、住宅地に点在すると嬉しい。昔は友人達でよく集ってお喋りしていた。
- 今までは町内の老人会があったが、コロナですべて無くなり、町内の方々との交わりも少なく周りの感じがわからない。町内会館で高齢者に対しての講演会などをしてくれたら嬉しい。

【健康づくり・介護予防について】

- 60～70代から参加できる健康体操、サークルの紹介、地域の助け合い、ボランティア、つながりの情報。
- フレイル予防のための無料の体操教室無料を増やしてほしい。
- 現在シニア体操教室に週2回通っている。コロナ期間につくづく体を動かす大切さを実感している。これからも続けられるように市が主催の体操教室をお願いしたい。
- 近くて低額で自分の自由な時間に行ける軽い運動の出来る場所があればよいと思う。
- 鎌倉の散歩コースを作してほしい。短いコースも作り、スタッフの方が付いてくれるような。

【医療について】

- 健康診断の受診券を年間通して使えるようにしてほしい。(生まれ月により冬の時期に限定されるので)
- インフルエンザの予防注射が東京は無料なのに、鎌倉市は有料だった。肺炎球菌予防接種も自己負担3,000円は高いと思う。
- 国民健康保険に加入し、サービスの悪さにびっくりした。コロナ禍で仕方ないのかもしれないが、医療機関の受付もすぐに定員いっぱいになり断られる。
- 高齢者医療について市から書類が届き対応が必要だったが、この書類がまことにお粗末。意味を汲み取るのが難しかった。目的・内容・対応などが整然と

書かれておらず、あちこちを読んでつなげないと理解できなかった。

- 公立の病院が無いのは残念。財政上無理なのは理解しているが、鎌倉市の医療資源は最低に近いと思う。
- 後期高齢者ゆえ、今は大丈夫でも何が起きるかわからない。もしもの時、鎌倉市の高齢者福祉窓口気軽に何の躊躇もなく相談できると所だと、安心して心強いと思う。
- 高齢者になって病院へかかることが多くなったが、治療費が1割になったことは助かっている。今現在不満はない。

【生きがい・楽しみについて】

- 高齢者が楽しめるイベントを考え、誰もが気軽に集まって話をしたり、ゲームをしたり、月に1回程度の“集いの会”があると良いと思う。例えば健康相談や簡単なパソコン教室、スマホ教室など。地域包括支援センターの内容をわかりやすくアピールしてほしい。みんなが興味を持つような目を引くことを冊子にしたりすると、もっと身近なものになると思う。
- 鎌倉芸術館で開催される音楽や映画はローコストであり毎月数回通っている。大変楽しく今後も期待したいと思う。
- 週1で老人麻雀に興じている。脳のスポーツとして他に類を見ない競技と思う。大会の場ではなく何日でも誰でも参加できる場があれば。
- 男性ができる家庭料理教室を土曜、日曜に開催してくれると助かる。その他、パソコン、タブレット等の使用方法の講習。

【就労について】

- 高齢者が元気でいつまでも働ける場、環境、条件をもっと整えてほしい。
- 健康で現在の仕事ができる職能、技能を生かせる環境があったら考えてもらいたいと切望する。現役で自分の技能を生かす場がほしいと思う。
- 高齢者でも元気な人が沢山見かける。高齢の人達が働きたくても年だと断られる時代で、働き口を広げて元気で人のため、自分のためにと働けるようなシステム、窓口の相談ができればと。
- 健康維持、経済的観点から、高齢者への就業機会を充実させてほしい。市内企業、神社仏閣などから幅広い仕事の提供を期待する。(仕組みはシルバー人材センター)

【その他】

- まだ高齢者という自覚がないため、高齢者福祉に関して興味が薄い。自分の身体が動かなくなった時に切に感じるようになるのかも知れない。
- 手を差し伸べる姿勢はほどほどがよい。放っておいてほしい、これでは自然死ができないという人もいることを忘れないでほしい。若い人々のために手厚く税金を使ってほしい。
- 障害者福祉に比べ高齢者福祉は厚く恵まれていると思う。高齢者は安易に公に頼らず甘えず社会、自分に責任を持った生き方をすべき。若い時からの心構えが必要と思う。